



# 美しい田園21通信



〒105-0004

東京都港区新橋 5-34-4 農業土木会館

**NPO 美しい田園 21**

Tel 03-3434-5056 Fax 03-3434-5057

メール [npo@denen21.jp](mailto:npo@denen21.jp)

問い合わせや活動報告はこちらへ

ホームページ <http://www.denen21.jp/>

最新情報や田園通信のバックナンバーはこちらから

## 目次

- |                                  |        |
|----------------------------------|--------|
| 1 「大和高原北部地区」環境美化運動に参加            | 近畿支部   |
| 2 国営横田開拓の耕作放棄地対策「奥出雲おろちシニコウ支援活動」 | 中国四国支部 |
| 3 「水土里ネットの森」下草刈りに参加              | 九州支部   |

## 1 「大和高原北部地区」環境美化運動に参加

### 加 近畿支部

場 所：大和高原北部地区上津ダム周辺(奈良県山辺郡山添村)

実施日：平成 29 年 6 月 24 日(土) 9 時～12 時

主 催：大和高原北部土地改良区

参加者：222 名(うち会員 8 名)

概 要：「大和高原北部地区」環境美化運動の作業範囲は、上津ダム右岸・左岸の長大な切土法面および公園、広場、駐車場並びにダム湖周遊道路周辺と作業範囲が広く、例年 200 名以上の参加をもって実施されます。

今年も、草刈り作業には好都合の曇天のもと、実施済みと後日参加の者を含めて 222 名の参加がありました。この美化運動の作業開始時間は 9 時からとなっていますが、参加者が多く、8 時過ぎにはダムサイト右岸・左岸及びダム管理所前にある駐車場は満杯状態になっていました。

土地改良区理事長から冒頭の挨拶があり、事務局より、作業分担、注意事項、畑地かんがい用水を利用したお茶栽培のすすめ等について説明がなされた後、あらかじめ作業量に応じて割り振られた 5 班に分かれ作業が開始されました。



理事長挨拶



左岸法面作業状況



右岸法面作業状況

5 班のうち、A 班と D 班はダムサイトの右岸・左岸の切り土法面という急斜面での広大な草刈り作業となり、作業内容説明書には「小段の上からと下からの手の届く範囲で結構です。」と一応書いてはいるものの、毎年、刈り残しがないよう滑りやすい足下に注意を払いながら法面全体を刈り払っていきます。

斜面での草刈りは、多少のコツも必要ですし足も疲れます。疲れてくると思わぬ事故につながるので周囲の安全を確認し、休憩をこまめにいれながら作業が進められていきます。毎年参加されている方々は草刈り作業に慣れており、効率的な作業手順、見事な手さばきにより、左右岸法面全体等を決められた時間内に刈り終えることができました。また、刈った草の集積運搬やフェンスに絡みついている蔦等の除去、並びに土舞台公園、遺跡公園、展望公園での草刈り作業も行いました。約 2 時間 30 分の作業でしたが、心地よい汗をかいた後は、きれいになった上津ダム周辺の景色を見ながら、しみの中に旨味があり「後味すっきり！」の「大和茶」等で喉を潤し、気持ちよく作業を終了することが出来ました。

## 2. 平成29年度 国営横田開拓の耕作放棄地対策「奥出雲おろちシソウ支援活動」 中国四国支部

平成29年6月17日(土)、耕作放棄地対策に取り組んでいる国営横田開拓の八川4団地において、エゴマの作付け(20アール、苗の本数は約3千本)の補植と周辺の草刈作業を行ないました。

参加人数は12名で、地元農家、本NPOからの参加です。その内、NPOは10名の参加となっています。作業は、参加者を草刈班と補植班の2班に分かれて行ないました。

苗の定植は、機械植えのため、苗の欠株・転倒がどうしても出来てしまうので、これを補完するための作業が必要となります。補植班は、苗伝いに歩き、目視で定植の確認を行ない、欠株等があれば補植を行いました。草刈班は、ほ場周辺の草刈を行い、周辺環境を整備しました。

当日は、空梅雨で雲一つない快晴で、大変暑い中での作業となりましたが、午前9時30分から作業開始し、約2時間で無事作業を終了することが出来ました。

この取組は、今年で7年目になりますが、暗渠排水の実施、肥料には鶏糞を用いる等、収量のアップを目指しています。

今後、秋のエゴマ収穫まで、毎月1回程度除草作業を行なう予定にしています。また、近くの造成地で、7月末には「小そば」20アールの種蒔きをすることにしていますが、必要に応じてエゴマと同じように維持管理を行う予定です。

これからも、地元特産の農作物の栽培を通じ、地元農家との交流、特産品のPRを行い、地域農業の振興に努めて行きます。

余談ではありますが、この活動をしている奥出雲町は中国山地の山間部で、お米(仁多米)やお蕎麦が美味しい地方です。

\*エゴマ：シソ科の一年草、油を採るために栽培される。最近、健康食品として知名度が上がっている。

\*小そば：横田の在来種で普通の蕎麦に比べると小さい。



作業後の集合写真



補植作業のようす



圃場周囲の草刈り

## 3. 「水土里ネットの森」下草刈りに参加 九州支部

去る6月3日、阿蘇の水源かん養林「水土里ネットの森」の下草刈りが行われ、九州支部からも16名が参加しました。

昨年は熊本地震の影響で中止となったため、今年は2年振りの開催となりました。

熊本市をはじめ、周辺の自治体、農協、土地改良区の職員など総勢300名が参加しました。

参加者は、刈り払い機か草刈り鎌のどちらかを持参し、草刈り鎌の人は木を傷つけないように、木の周辺だけを丁寧に刈り取り、それ以外のところは刈り払い機を使って豪快に刈り取っていきます。10人くらいの刈り払い機が段違いに並んで、草原を刈り取っていく様は壮快で、つつい手を休めて見とれてしまいます。

追伸

最近は大災害がひんぱんに起こって、マスコミでも余り発信されませんが、いま阿蘇の草原は重大な危機に直面しています。

ご承知のように阿蘇の草原は何百年も前から、住民らによる「野焼き」によって維持されていますが、後継者不足とボランティアの高齢化で、その「野焼き」が困難になっているのです。

野焼きは毎年、春に実施されます。暇と体力のある方は是非「野焼き」にも参加して下さい。

